

令和4年度 第1回愛媛県渋滞対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和4年8月2日（火）14：00～15：30
2. 場 所：WEB会議（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため）
3. 議 題
 - （1）これまでの経緯
 - （2）最新交通データによる渋滞状況検証
 - （3）主要渋滞箇所の見直し（案）
 - （4）道路利用者会議からの要望に対する対応状況
 - （5）松山都市圏におけるTDM施策の社会実験
 - （6）観光期における経路誘導対策の実施内容
 - （7）具体的な対策の令和3年度の実施状況及び今後の実施予定
4. 議事要旨
 - 主要渋滞箇所の見直し（案）について、喜多川朔日市線の新設交差点の事故発生状況について、今後注視するようにとの意見があった。
また、渋滞判定方法について、旅行速度だけでなく信号現示等の現地の状況確認を組み合わせるような検討が必要との意見があった。
 - 道路利用者会議からの要望に対する対応状況は、松山空港入口交差点の渋滞改善のため、北吉田交差点の信号現示について検討するよう意見があった。
 - 松山都市圏におけるTDM施策の社会実験について、効果について参加された企業や個人へのフィードバックが必要であることと、朝ピークの渋滞状況の変化だけでなく、帰宅時間帯の交通状況や、参加された方の仕事の効率がどうであったかなど、幅広い検証を行う必要があるとの意見があった。
また、時差出勤について、混雑時間帯の通過台数が増加しないよう、情報提供の仕方については十分注意し実施して欲しいという意見があった。
 - 観光期における経路誘導対策の実施計画については、国道11号への経路誘導だけではなく、松山IC入口交差点の信号現示を見直すことで渋滞緩和に繋がるのではないかという意見と、松山ICからの流出交通についても経路誘導等の対策を検討する必要があるとの意見があった。
また、国道11号経由の川内IC利用による料金面での優位性についてPRすべきという意見があった。